

頭巾山 871.0m (京都北山)

ポンポン山雑感

2019年9月16日

三鍋敏郎

国境尾根に位置する頭巾山は京都駅から行くと比較的遠い位置にある。

山森福居の集落から北に進むとゲートがある。そこから少行くと巡視路分岐があり、頭巾山登山口の道標が立っているので、適当な空き地に車を停める。

林道分岐から少し引き返すと送電線の手前辺りに斜度が比較的緩やかな場所がある、そこから斜めに這い上がり小尾根に取り付く。暫くは植林帯を歩く。標高差 150m ほど登ると少し穏やかな広場に出るのでそこで小休憩。ここから標高差 100m 近くは急斜面の登り。登りきると穏やかな尾根に乗るが、この辺りの地表を覆うイワカガミの群落は驚くほど広大な面積を占め、足の踏み場がないほど群生が続いている。雪解けの季節には見事なピンク色の花が咲き乱れることだろう。

広い尾根にはブナの交じる自然林が続く。南斜面から植林地が絡む場所があるが快適な尾根歩きが出来る。途中ブナの巨木があり H さんに並んでもらって写真を撮る。

ピーク 835m に合流すると 90 度進行方向は北向きとなる吊尾根歩きである。一気に 30m ほど下ると歩きやすい尾根が続く。途中の小ピークを越えると標高差 100m ほどの急登となる。以前、山頂南斜面直下は笹に覆われて、とても侵入できなかったが現在は笹も無く踏み跡が続いておりそれを辿ると山頂に出る。

頭巾山山頂からの展望は上空の厚い雲に阻まれ遠望は利かないが、日本海側に展望があり青葉山の山腹が見える。

下山は国境尾根を東に進む。鹿が食べないハナヒリノキが道を塞ぐように繁殖し歩きにくい。暫く進み尾根が広くなると踏み跡が消えてコース取りが難しい。近年はこの山に訪れる登山者が少ないようだ。尾根の途中に開けた草地があり、若狭の蒼い山並みが見え、高浜町辺りの入り江が見える。

P783 を過ぎた辺りで尾根は複雑に折れ曲がるので判断を誤るとコースアウトするので注意がいる。尾根が 90 度近く南に変わりブナ林を歩くと送電線保護のために樹木が切り開かれた明るい場所に出るが、その手前に関電道があるのだが現在は標識が無くなり分かりづらい。

休憩後、山腹を南に横切ると巡視路に出会う。快適なブナ林の下り。送電鉄塔が見えてくると再び伐採地に出て灌木帯の中を歩いて谷筋に下る。谷を渡ると植林地の下りとなるが旧道が流され荒れ果てた谷を下ると林道に出る。そこから登山口は近い。

★三鍋他 4 名 ★コース林道分岐 8:47～右岸尾根 9:28～尾根分岐 10:37～P835m 10:53
～頭巾山 11:28 発 58～尾根分岐 13:05 発 08～林道分岐登山口 14:00